

シニア松塚将棋クラブ NO246

令和5年6月22日(木) 1時30分～4時
 例会は毎週木曜日 次は6月29日(木)

様

詰将棋	解答者	番付
1	設楽 竜王・九段	20
2	青田 八段	28
3	秋山 八段	24
4	玉置 七段	7
5	花田 七段	3
6	柳原 二冠・六段	5
7	中 二段	18
8	森田 二段	7
9	上野 二段	7
10		

- 6月は、はっきりしない天気が多く、例会の行き帰り雨が降り、濡れて帰られた方もおられると思います。その際、自転車の方など転倒されないよう、最大の注意をお願いします。
- NO245 詰将棋問題は6名の方から解答が寄せられ、設楽竜王、青田八段、中二段、花田七段、上野二段が3問とも正解。玉置七段が2問正解でした。

NO245 詰将棋解答

- 第1問 1.▲2一飛 2.□同玉 3.▲3二歩成 4.□同角 5.▲1三桂 6.□1一玉 7.▲3三馬
- 第2問 1.▲3二飛 2.□同飛 3.▲1三金 4.□2一玉 5.▲3三桂不成 6.□同飛 7.▲2二金打
- 第3問 1.▲3三銀不成 2.□2三玉 3.▲3二銀不成 4.□2四玉 5.▲3四金 6.□2五玉 7.▲2六金 8.□3四玉 9.▲3五金

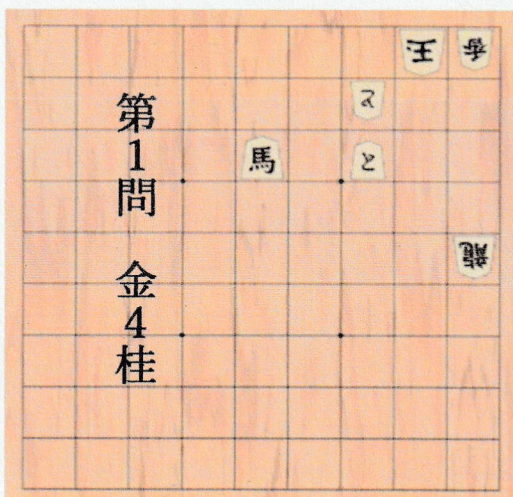
詰将棋問題

(11手詰)

2問正解を1点に

羽生会長とタイガース

応援してま～す



羽生善治九段との第53期名人戦第3局

私の一手

森下卓九段が選んだ「私の一手」は第53期名人戦第3局で指した□5四金(36手目)一盤面参照一だった。2連敗で迎えた本局。「ここであっさり負けて3連敗、4連敗でタイトル戦が終わったら、何のために自分は挑戦者になったのかと後悔していま



備えが実った会心の一手

した」。羽生善治九段の先手番で始まった本局は矢倉の戦型となる。1日目夕方の封じ手間際、羽生が53分の長考で、5八飛(35手目)と飛車を中間に振る。この場面で、□5三銀や□8四飛が考えられた。しかし□5三銀だと▲7六銀があり、また□8四飛だと▲5五銀□5四歩▲4六銀□3一玉▲3七桂とされ、浮いた飛車の働きが悪くなる。そこで森下が10分の少考で封じた手が□5四金だった。「この局面を想定して前から考えていた

手でした。会心の一手で、かなり手応えを感じました」この手に対し、羽生は1時間15分を投じて▲3七桂(37手目)とするが、□4二銀(38手目)と柔らかに対応。その後、7、8筋で激しい攻防となるが、森下が的確な指し回しを見せて羽生を投了に追い込んだ。「将棋人生の中でも、一番勝たなきゃダメだという思いで臨んだ一局でした。勝ってほっとしましたね」森下の必死の思いが、シリーズ初勝利をもたらした。